

column 5000人に1人が億万長者!!

最高100万ドルが当たるドバイの宝くじ



左がドバイの宝くじ。封筒サイズの折りたたみシートにカード型のくじが挟まれている。右はドバイをコピーして作られたカターの宝くじで、賞金額は同じ100万ドル。

至る所で高層ビルの建設が続くドバイ。



ドバイ株投資に詳しい石田和靖さん

800メートル以上という世界一の高さを誇るビル、ブルジュ・ドバイや、砂漠のど真ん中の人工スキー場など中東の小国ドバイにはドバイを抜くプロジェクトが少ないが、宝くじもハンパでない。ドバイ国際空港とジュメイラビーチホテルだけで買える「ミレニアム・ミリオネア」は、何と5000分の1の確率で100万ドル(約1億2000万円)が当たる宝くじ。1枚278ドル(約3万3000円)とやや値は張るが、当たりやすさは日本のジャンボ宝くじとは比べ物にならない。毎回、販売数が5000口に達した時点で締め切られるが、ドバイに行くたびに必ず買うという石田和靖さんは「10口買えば確率は500分

の1です」と興奮気味に話す。運良く当たればエミレーツ航空のビジネスクラス往復航空券と、ペルシャ湾に浮かぶ七つ星ホテル「ハーヴェイ・アル・アラブ」の14日間の宿泊券がもらえ、現地で行われる贈呈式に招待される。「王様みたいな夢を味わえるワクワク感がたまりませんね」(石田さん)。賞金額が100万ドルの宝くじのほかに、ポルシェやBMWの高級車が当たるくじ(1口139ドル)もある。

本誌読者を会員限定サイトに招待

石田さんが6月にスタートさせた海外投資に特化したコミュニティサービス「World Investors (ワールドインベスターズ)」。本来は友人・知人の紹介がなければ会員になれないが、本誌読者を特別に招待。以下のホームページにアクセスし、パスワードを入力すると招待状が受け取れる(9月末まで有効)。海外投資に関する役立つクチコミ情報が盛りだくさんで、投資仲間が増えること間違いなし。

アドレス <http://worldinvestors.jp/nikkeimoney/>
パスワード nikkeimoney10

人民币
日本人が中国本土の銀行に
人民币の口座を開けるか?

いずれ大幅な切り上げがあるかもしれない人民币で資産を持てば、将来、大もうけができるかもしれない。こんなことを考えたことのある人は少なくないだろう。

そのチャンスは日本人がものにするには、中国本土の銀行に口座を開き、人民币でおカネを預けて

おくのが手っ取り早いやり方だ。だが外貨管理規制を敷く中国では、旅行などで回国を訪れた短期滞在の外国人は銀行口座を開けないルールになっている。

もし現地駐在や留学などで現地

Aさんが持つ中国工商银行の通帳とキャッシュカード。日本のATMからおカネを引き出せる。



地の役所で外国人登録し、その登録証とパスポートを持って銀行窓口で手続きをする必要がある(中国工商银行の東京支店)。

しかし、である。出張で中国に行く機会が多いという都内在住のAさんは3年前に中国工商银行の北京のある支店で総合口座を作った。「簡単な書類を書いて窓口でパスポートを見せ、その場で6ヶ月の暗証番号を入力すれば10分

通帳がもらえた。住所欄には滞在先のホテルの住所を書いた」

平然とした様子でこう話すAさんは「中国は今ほとんど金利を上げていっているので、普通預金でも1%以上の利子がつく。将来、大幅な切り上げがあれば資産が何倍にも増える楽しみもある」

Aさんと同様のケースはほかにもあるようで、「支店や窓口によってはルールが徹底されていない所があるのかもしれませんが」(中国工商银行の東京支店)という。